

平成 29 年度 学校教育課 主たる事業（実績）

1 職場体験事業

学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験を実施することで、「地域の子供は地域で育てる。」という機運を高めることを目的に、自分の将来の生き方や進路を模索しはじめる市内 7 中学校 14 学級の 2 年生を対象に、職場体験事業を実施した。市内 170 施設の協力、参加生徒 396 人であった。

2 学べる里海推進事業

地域の産業や環境保全などに関する授業を通じた里海学習を推進するため、市内 9 小学校で、里海について考える授業を実施した。

3 学校防災学習事業

南海トラフや様々な災害に対して志摩市内の学校の児童生徒の「自分の命は、自分で守る力」「安全な行動をとる能力」を身に着ける学習や地域とともに安全で安心なまちづくりを担っていくという意識を身につけるため、市内 5 小中学校で防災に関する授業を実施した。

4 小学校・中学校介助員配置事業

特別支援学級の対象児童生徒や普通学級における要支援対象児童生徒を支援するため、小学校 34 人、中学校に 15 人の介助員を配置した。
（学習支援員 小 4 人・中 5 人）

5 小学校・中学校就学援助経費

小中学校に在籍する児童生徒で、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して学用品等の援助を行った。

また、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対しては、特別支援教育就学奨励費の支給を行った。

6 学校支援地域本部推進事業

地域学力コーディネーターを設置し、子ども達の学びを保証するため、中学校区をベースとして「しま子ども未来教室」を開催する。

29 年度は、志摩小学校高学年の児童に参加を呼び掛け、学習習慣の確立と基礎学力の定着をめざし、毎週水曜日に志摩文化会館で約 1 時間の学習支援を行った。

平成30年度 学校教育課 主たる事業（計画）

1 職場体験事業

学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験を実施することで、「地域の子供は地域で育てる。」という機運を高めることを目的に、自分の将来の生き方や進路を模索しはじめる市内6中学校13学級の2年生を対象に、職場体験事業を実施する。

2 環境体験学習事業

農林業などの体験学習を通じて地域の産業や環境保全などに関する授業を市内6小学校で実施する。

3 学校防災学習事業

南海トラフや様々な災害に対して志摩市内の学校の児童生徒の「自分の命は、自分で守る力」「安全な行動をとる能力」を身に着ける学習や地域とともに安全で安心なまちづくりを担っていくという意識を身につけるため、市内4小学校と1中学校で防災に関する授業を実施する。

4 幼稚園・小学校・中学校介助員配置事業

特別支援学級の対象園児、児童生徒や普通学級における要支援対象児童生徒を支援するため、小学校32人、中学校に17人の介助員を配置する。（学習支援員 小4人・中5人）

5 小学校・中学校就学援助経費

小中学校に在籍する児童生徒で、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して学用品等の援助を行う。

また、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対しては、特別支援教育就学奨励費の支給を行う。

6 学校支援地域本部推進事業

地域学力コーディネーターを設置し、子ども達の学びを保証するため、中学校区をベースとして「しま子ども未来教室」を開催する。

30年度も、29年度に引き続き、志摩小学校高学年の児童に参加を呼び掛け、学習習慣の確立と基礎学力の定着をめざし、毎週水曜日に志摩文化会館で約1時間の学習支援を行う。